

公益社団法人 神奈川県鍼灸師会 理事会議事録（平成28年度第5回）

【日時】平成29年3月5日（日） 18:00～20:30

【会場】神奈川県鍼灸師会 事務所

【次第】1、会長挨拶 2、出席確認 3、署名人指名 4、議事 5、閉会の辞

【出席14名】 理事：清水、窪田、秦、栗田、藤田、吉田、林、萱間、榊原
監事：森下、松原 相談役：千葉、日野
事務局：定成

【欠席1名】 喜島

【議長】 清水会長

【書記】 定成

【議事録署名人】 清水、森下、松原

【議題】

〔I〕報告事項

1. 会務報告(9月5日～平成29年2月5日)

・第6回かながわ鍼灸マッサージ推進協議会

秦副会長より、添付資料のとおり報告があった。清水会長から追加で、当協議会(小谷田、伊勢山、清水)と自民党幹部間での勉強会が3/17に神奈川県庁で行われることが報告された。

・第7回業務執行理事会

秦副会長より、添付資料のとおり報告があった。項目8の補足として、ウーベル保険事務所へのヒアリングの結果、保険に加入するのであれば日鍼会への入会が監査対象であるため、時期をずらしての加入は認められない旨が報告された。項目9の補足として、理事の辞任については総会での承認が必要なため、事前に行われる理事会にて事前に承認する必要がある、それまでに辞任届を提出してもらうこととした。辞任届は、定成事務局員が喜島理事へ事前に送付するように指示された。項目12については、湘南医療福祉医療専門学校を会場とすることで仮押さえしたとの報告がなされた。また、朝日山先生に講師をお願いする件は、他のイベントと重なり、他の先生を紹介していただけることになったとの報告もあった。

・第4回臨床鍼灸スポーツトレーナー研修会→東京マラソン事前研修会→東京マラソン

藤田学術部長より、添付資料のとおり報告があった。特に際立った点として、外国人ランナーに対応する実用英会話ができるようにマニュアルが配布されたこと、ボランティア参加者が120名と非常に多かったこと(藤田学術部長が確認できた当会参加者は4名)、東鍼会会長印の感謝状が配布されたことが挙げられた。清水会長から、当会でも参考にできる部分は取り入れるように、萱間広報普及部長に指示された。

・市民健康講座－やってみよう！ツボを使ったヘルスケア－<萱間>

萱間広報普及部長より、口頭で報告があった。参加者22名(事前予約は29名)で満足度が高かったこと、反省は多々あったが有意義な講座だったとの報告がされた。

以上

2. 各部からの報告

・日本鍼灸師会危機管理委員会堀口正剛理事より依頼のあった関東ブロック災害担当の件

秦副会長より、添付資料のとおり報告があった。経緯の説明がされ、熟慮の結果、今回は自身の業務を超えて負担が多くなるとの観点から、辞退することになったという報告があった。

・関東ブロック保険部長会議

榊原部長より、会議の内容について、以下のとおり口頭での報告があった。今後の動向として、受領委任払いが多くなっていく。受領委任制度という名前で既に地域によって取り入れているところが増えてきている。理由は、現在不正受給がとても多く、9.5億円にもなっているため、罰則規定も強化されている。手引きは夏に完成予定で、でき上がり次第、各師会事務所に送付される。また、遵守誓約書に不正受給に関する項目を記載するため、専門的な知識のある専門家に依頼することも視野に入れて作成することとした。まずは千葉相談役と協議してある程度のたたき台を作成する。

・東鍼会との診察学講座共催の件

3/12 に行われる会議に、清水会長と藤田学術部長が出席することが報告された。東鍼会が考える「鍼灸医師を目指す」方向性と当会清水会長の考える「最低限の知識は必要であるが、そこまでは必要がない」との見解の相違をどこまですり合わせられるかが今回の会議の鍵となる。

・ACUMO取材の件

萱間広報普及部長より、取材はスポーツトレーナーの池内氏で合意し、日程を現在調整中との報告があった。

以上

3. 入退会の報告

秦副会長より、入退会は割愛し、現在の会員数だけが報告がされた。3月1日現在の会員数は237名で、うち学生会員は14名である。

4. その他

・みなし決議

秦副会長より、3件のみなし決議について承認されたとの報告があった。また、みなし決議の管轄については組織共済部が担当し、会員管理は事務局が担当することが確認された。

〔Ⅱ〕審議事項

1. 総務部より

①事業計画の件

秦副会長より事業計画案が提示され、内容を精査した結果、いくつかの文言を訂正することを条件に全会一致にて承認可決された。訂正箇所は以下のとおり。

- 1) 1の2行目:「湘南国際マラソン」→「湘南国際マラソン鍼灸ボランティア」
- 2) 3の4行目:「会員相互支援事業」→「会員相互支援事業(この指とまれプロジェクト)」
- 3) 4の1行目:「療養費適正運用指導会」の後に「保険取扱い初心者講習会」を追加
- 4) 6の1行目:「一般情報誌」→「一般情報誌(ACUMO)」

②合同委員会の件

秦副会長より、本件はまだ他部との話し合いが終わっていないため、次回に繰り越しとなることが報告された。

2. 財務部より

①予算案の件

栗田財務部長より、2月5日の理事会で承認された内容で神奈川県に提出することが提案され、全会一致で承認可決された。また、各部の努力により大幅な事業費削減がなされたが、まだまだ赤字決算となる可能性も示唆し、個別に削減するための面談を行う可能性もあることが合わせて報告された。今後は各部の活動を透明化する意味でも月単位での報告をお願いし、管理していくことも視野に入れているとの提言もあった。

②日鍼会後期会費納入の件ならびに日鍼会会費の月割り納入の検討

栗田財務部長より、数名の未納者がいること、ウーベル保険加入のために3月であっても半期分の日鍼会費が請求され不公平感があることの報告とともに当会同様日鍼会の月割り納入の検討案が出され、日野相談役が日鍼会に確認することで合意した。未納者に対しては事務局が早急に督促状を送り、会費回収を行うこととした。また、未納者を把握するために、事務局がリストを作成し理事MLにて共有することとした。

3. 学術部より

①当会会員対象「平成28年度 学術講習会年間受講修了証」発行要件(参加回数)改訂案

藤田部長より添付のとおり提案があり、審議の結果、全会一致で承認可決された。

②学術講習会、学校会場の際における教員無料化の提案

藤田学術部長より添付資料のとおり提案があり、理事より活発な意見交換が行われ、無料対応は学術講習会のみで災害医療研修には採用しない案が示され、全会一致にて承認可決された。

4. 保険部より

①平成29年度保険部年間スケジュール変更の件

榊原保険部長より添付資料のとおり、部員の負担軽減と経費削減の観点から初心者講習会や療養費研修会の日程に合わせ同日に開催する案が提案され、日程については全会一致にて承認可決された。経費削減に関しては同日開催とのことから片方の手当を辞退されたが、働いたことに対する対価を払うことの重要性の観点から手当の辞退については却下された。またこの件から新たに手当に対する提案がなされ、各理事より活発な意見交換が行われ、原則会務を行った場合は、それに対する手当を支給することで承認可決された。日程の変更は以下のとおり。

- 1)5月10日(水)→14日(日)
- 2)6月14日(水)→11日(日)
- 3)7月12日(水)→23日(日)
- 4)11月8日(水)→12日(日)
- 5)3月14日(水)→25日(日)

5. その他

①第3回イブニングセミナー日程変更の件

藤田学術部長より、講師の都合により11月15日(水)開催を11月14日(火)開催に変更したい申し出があり、全会一致にて承認可決された。

次回、平成29年度第1回理事会は、平成29年5月7日(日)14時から開催される。

以上で、すべての審議を終了し、理事会は閉会した。

(作成:秦宗広)

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した代表理事および監事は記名押印する。

平成29年3月5日

代表理事 印

監 事 印

監 事 印